

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期西和賀町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県和賀郡西和賀町

3 地域再生計画の区域

岩手県和賀郡西和賀町の全域

4 地域再生計画の目標

西和賀町の人口は、1960年の19,364人（旧湯田町、旧沢内村の合計）をピークに減少しており、2020年の国勢調査速報値では5,137人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によれば、2040年には3,183人となる見込みであり、これは2020年比の約38.0%（1,954人）減です。また、2040年（令和22年）における年齢3区分別人口の推計をみると、年少人口（0～14歳）が7.3%、生産年齢人口（15～64歳）が38.0%であるのに対し、高齢人口（65歳以上）が54.7%に至るとされており、今後さらに人口減少と超高齢化が進むと予測されています。

自然動態をみると、進学・就職等による若年層の流出が近年の出生数の減少傾向に繋がっていると考えられ、1985年には出生数106人であったが2020年には13人まで減少している。一方で、死亡数は長期間100人前後で推移していることもあり、自然減の状態が続き、2019年には114人の自然減となっています。

社会動態をみると、1981年以降現在に至るまで、転出数が転入数を上回っている社会減の状態が続いており、2019年は58人の社会減となっています。

今後もこの状態が続くと、地域経済の衰退や担い手不足、地域コミュニティの機能低下が懸念され、町財政にも大きな影響が及ぼされ、ひいてはまち全体の消滅も危ぶまれます。

西和賀町は、このまま人口減少が進めば、自治体としての機能を維持することが困難な状況に陥る“消滅可能性都市”といわれていますが、“どこにもない四季”

と形容する豊かな自然や、この地で育まれてきた独特の伝統文化、そこに暮らす人々の生き様は後世に伝えていかなければならないものです。

そのため、一緒にこの町を守り伝えるとともに、町に変革をもたらしてくれる新たな“町民”を増やすことが重要であり、移住・定住人口の増加と、町と関わる交流人口の拡大に重点を置いた取り組みを進めていくこととします。

また、移住・定住人口、交流人口を増やし、西和賀町人口ビジョンに掲げる 2040 年の人口目標 3,461 人を達成するためには、さらに魅力ある地域づくりが必要であり、保健医療福祉、教育、生活基盤、生活環境などの各種施策の充実も求められるところです。そのため、西和賀町総合計画を着実に実行し、必要に応じて見直しをすることにより総合的なまちづくりを推進します。具体的な事業は、以下の基本目標のもとで行います。

- ・ 基本目標Ⅰ 社会増減への対応 ― 地域の学びを力にいきいきと働く
- ・ 基本目標Ⅱ 自然増減への対応 ― 一人ひとりのライフシーンに寄り添う
- ・ 基本目標Ⅲ 関係人口への対応 ― 多様なかかわりをまちづくりに

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	社会増減数	△58人	±0人	基本目標Ⅰ
イ	自然増減数	△114人	△70人	基本目標Ⅱ
ウ	ふるさと納税寄付金額	226,697千円	300,000千円	基本目標Ⅲ

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期西和賀町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 社会増減への対応事業

イ 自然増減への対応事業

ウ 関係人口への対応事業

② 事業の内容

ア 社会増減への対応事業

流出した人口の回復率（Uターン率）を高めるため、残りたい・帰りたいと思える環境整備（ソフト面・ハード面）、雇用の場の確保、所得の向上を目的として所得の多様化を支援する事業。

また、20～30代におけるUターン以外の移住者（I・Jターン）の増加は町の出生数にも大きく影響することから、上記世代の人口増加を図るため、移住相談のワンストップ化や企業連携によるサテライトオフィス等を創出する事業。

【具体的な事業】

- ・ 6次産業推進事業、地域ブランド推進事業、産業間連携推進事業
- ・ 西和賀高校魅力化支援事業
- ・ 移住・定住推進事業等

イ 自然増減への対応事業

女性数の維持・増加による、社会増減施策におけるUターン率の向上や移住者の増加を目指す事業。地域内交流の推進による住民同士の交流推進による女性配偶率の向上や、結婚による転入者増加につながる婚活支援事業。

また、地域内交流を推進することで、健康づくりや助け合いの場を増やし、健康寿命の延伸を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・ 放課後児童健全育成事業
- ・ 婚活応援事業
- ・ 健康づくり事業等

ウ 関係人口への対応事業

人口減少により縮小する地域経済や活動の補填のため、西和賀町に対して関心を持って関与する関係人口となる町外の住民や企業などの確保を目指す事業。

人的視点における関係人口の増加のため、事業所誘致や町外住民の町内雇用のほか、スポット対応可能な町外事業者・専門人材・ボランティア等との交流を強化する事業。

経済視点における関係人口の増加のため、外貨獲得に資する産業の強化や、出身者のネットワークや企業連携によるふるさと納税の推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 西和賀町拡大コミュニティ及びふるさと交流事業
- ・ 地域ブランド推進事業
- ・ S D G s 推進事業等

※ なお、詳細は第2期西和賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

410,000 千円（2021 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度8月頃に、外部有識者等によって構成される町推進会議において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上に公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで